



性に関する問題を中心に、障害者に様々な情報を提供したり、障害者自らが自己選択・自己決定に基づき自由なライフスタイルを選択することができるように支援する環境や斬新な仕組みを作り、また社会一般の人達の理解・協力を得るための情報発信事業を行うことにより、障害者が真に公平な社会参加を実現し、生きる勇気や希望に満ちた人権生活を確立すること



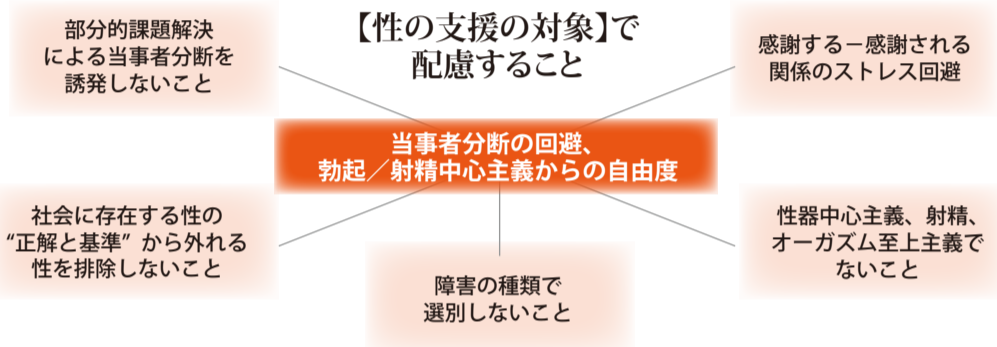
射精介助による、障害者の性に関する尊厳と自立の保護、定期的な射精介助による性機能の健康管理。射精介助は、性的な快感の「最大化」を目的とする介助ではなく、「性機能の健康管理」という目的を達成するための、性的な快感の「最適化」を目的とするケア。

なるべく障害者自身の手でマスターベーションや自助具の利用動作を行なうことを基本姿勢とし、マスターベーションをする環境を整備、コーディネート、自助具の開発・制作・改良などの中間支援のほか、カップルの添い寝介助、性風俗やラブホ利用・情報におけるバリアフリーなど。



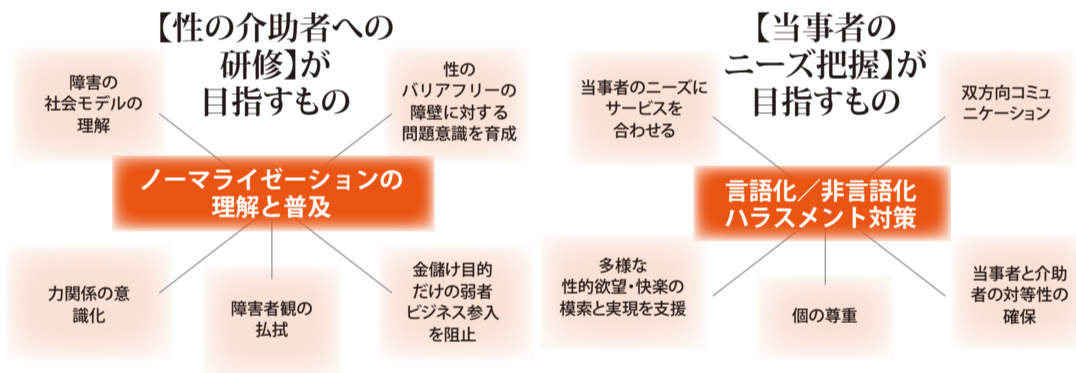
手袋をしたケアスタッフがローションを使って手コキをする射精介助

身体障害者で自分自身で性活動が困難なすべての方対象



脳性まひと神経難病の男性障害者への射精介助 (※脊髄損傷・頸椎損傷、高次脳機能障害、知的・発達・精神障害の人は対象外。)

性的環境支援コーディネータは、介護福祉士、看護師などの有資格者のみ。性的介助士(プロパー)は別途研修あり。利用者の身体状況やニーズのアセスメントを経て、ケアプラン作成



ケアスタッフの条件
1. 性のケアの理念に、「冷静かつ客観的」な視点を持って、賛同していただける方
2. 一般常識とコミュニケーション能力があり、心身ともに健康な方
3. メールの使用、及びインターネットの閲覧ができる方
4. コミュニケーションの「24時間ルール」が守れる方
スタッフには「体験実習」、障害当事者には申込み時に事前チェックフォームによる障害の程度等確認あり

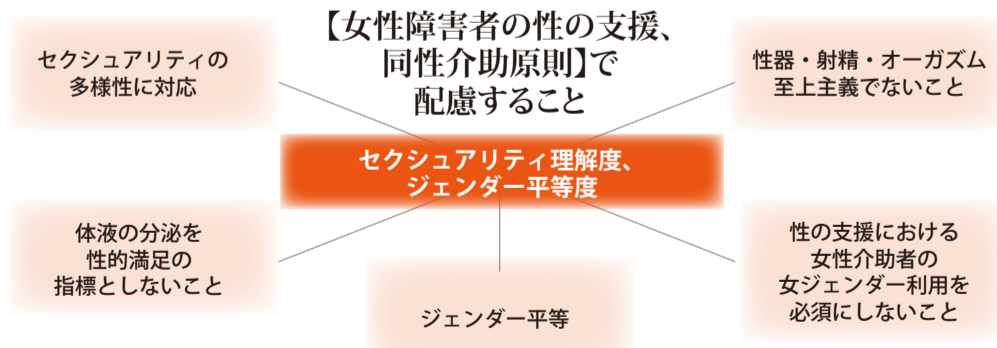
AV 視聴等、自慰行為の関連サービスあり。映像媒体のセット・操作、後片付け等のサービスも提供。



AV 視聴等、自慰行為の関連サービスなし。性的興奮を喚起するものは原則禁止。

女性障害者への性の支援あり。

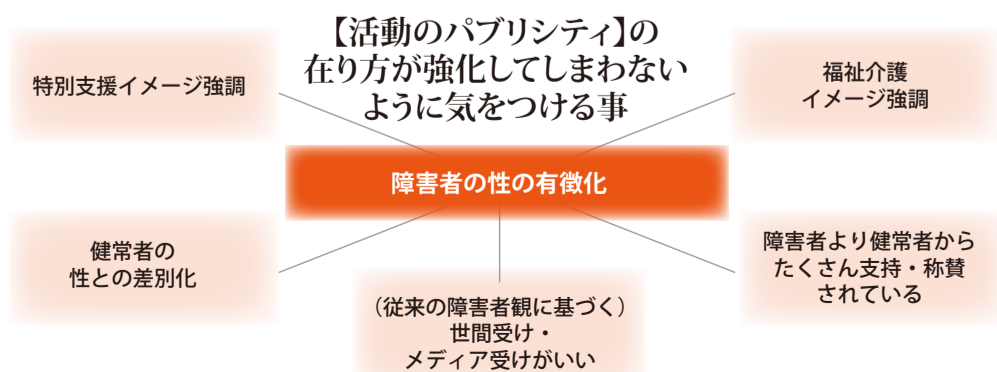
同性介助。
※トランスジェンダーの方など利用者のセクシュアリティには配慮。



女性障害者への性の支援なし。

異性介助。
女性スタッフによる男性利用者への射精介助

特定非営利活動法人として認証を受けている。ホワイトハンズとは違い、風俗店ではなく、NPO 法人。射精を推奨するのではなく、あくまで、障害当事者自身による自主的/主体的な性活動が可能となる条件・環境を整備、サポートするというスタンスで活動をアピール。



射精介助サービス開始前の平成 19 年 11 月から公安委員会に性風俗営業の届け出しているため、正しくは無店舗型性風俗営業であるが、風俗店であることが客観的にみてわかりにくくなっており (※)、「介護行為」を行う福祉団体として宣伝。「射精する障害者ほど社会活動が活発で、自尊心が高い傾向」と射精介助をアピールし、公的な制度化を目指す。

(※) 通常、性風俗店の Web サイトは、サイトトップページで、18 歳以上かどうかを確認させる頁を設置するようになっているが、当該団体はその頁がなく、サイト内でも、性風俗店であることを確認するのが非常に難しい。